

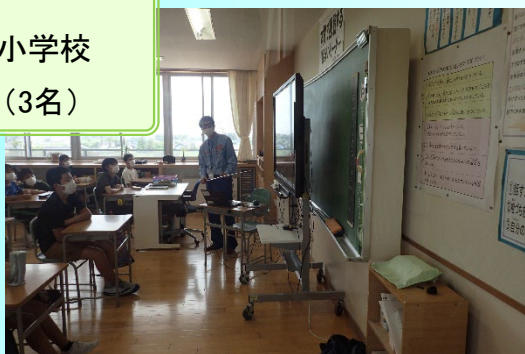
「立山北部小学校」で出前講座！



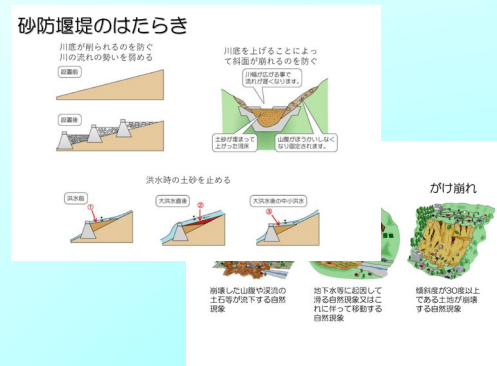
流域の次代を担う小学生の皆さんを対象に、砂防事業を通して、地域を知り、さらにふるさとに親しんでもらうことを目的に、「総合的な学習の時間」支援の一環として、立山町立立山北部小学校にて出前講座を実施しました。授業の内容は暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割、立山で行われている砂防の事業について説明しました。講座が終わった頃には立山には観光地としての側面と併せて、防災事業が行われている地としてもう一つの側面を理解していただきました。

- ・開催日：令和4年7月21日(木)
- ・時間帯：10:25～11:10
- ・場 所：立山町立立山北部小学校
- ・参加者：6年生(22名)・教員(3名)

出前講座の様子



講義の内容(一部抜粋)



◆講座内容◆

1. 土砂災害とは
2. 砂防とは
3. 砂防堰堤の働き
4. 立山カルデラ
5. 常願寺川の特徴
6. 立山の砂防事業

実際に、土石流、地すべり、崖崩れの画像を児童がわかりやすいように動画で見せていただきました。



災害が多い要因を説明



【児童の感想】

- 日本は土砂災害が少ないと思っていたが意外と多かった。
- 常願寺川が他の川と比べ、急であることがわかりました。
- 砂防はすごいと思いました。

今回の出前講座は、令和3年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました。8月30日(火)には立山カルデラでの現場を見学、10月27日(木)には土砂災害の模型等による講座も実施する予定です。